

- 研修名：平成29年度 基礎技術研修（水文）
- 実施日：平成29年10月30日（月）～31日（火）
- 目的：河川計画の検討で重要な水文観測に関する概論や、H-Q作成の基礎知識を学習するとともに、観測装置（雨量・水位・流量）を使用した仕組みや保守手法の確認、流量観測（低水流観・高水流観）の体験を行うことで、河川技術者としての知識向上を図るための基礎技術研修を行った。
- 受講者：8名
- 評価点：受講者アンケートで約90点の高評価（100点満点）
- 意見
 - ・高水や低水流観を実際に体験でき、作業手順や留意点について良く理解できた。
 - ・観測装置（雨量・水位）に、触れ動かしながら説明してもらえ分かりやすかった。
 - ・河川法など理解が十分でない部分について、これを機に勉強していきたいと思う。
 - ・H-Q曲線について、自分でも線を引く作成演習時間枠を増やしてもらいたい。



雨量計（転倒マス）の仕組みを確認



電波流速計による観測の説明



土器川で低水流量観測を体験